

くろべせいぶ
黒部西部地区
(富山県黒部市)

- 計 画 期 間 平成 22 年度～平成 26 年度
- 面 積 1,617 h a
- 交付対象事業費 2,430.0 百万円
- 市人口 40,361 人

ポイント

都市基盤と交通環境の一体的整備による市街地の活性化

地区概要

市街地の面的整備や歩行空間の安全確保、公共交通の活性化等により、交流のまちづくりを推進する

目 標

「大自然のシンフォニー文化・交流のまちづくりの推進」

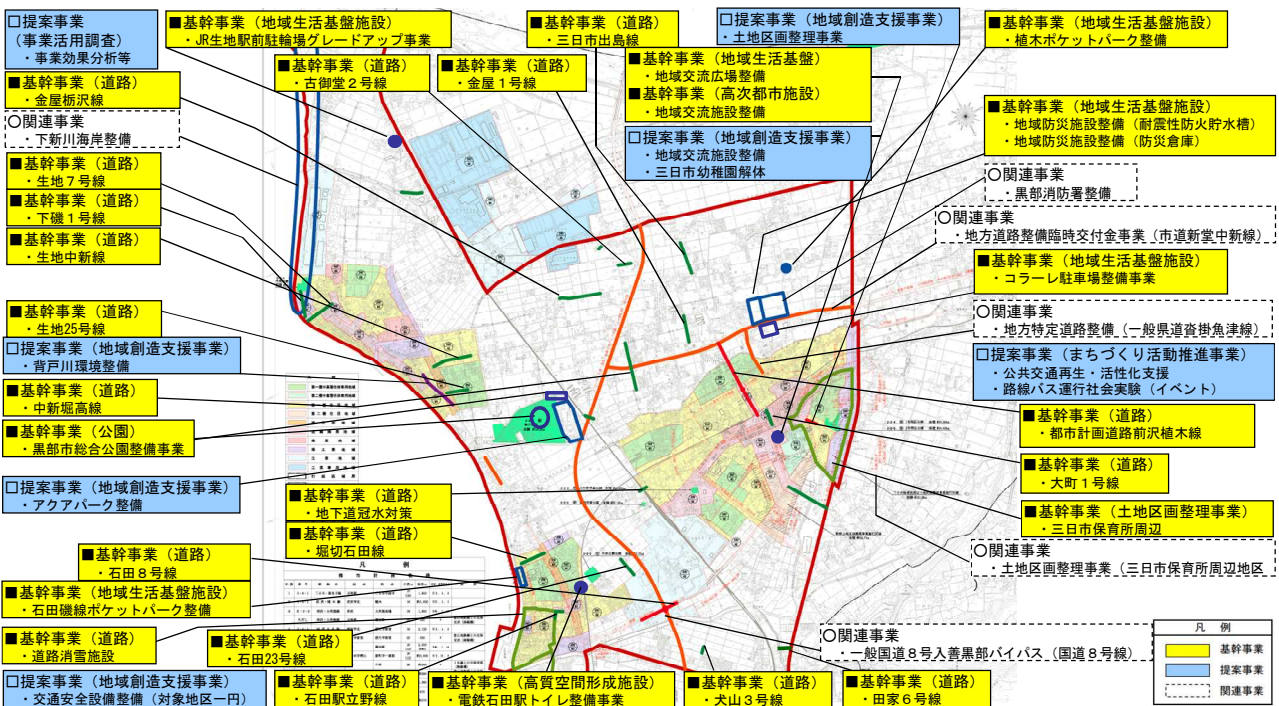
指 標

住環境整備による定住人口の歯止め、安全・快適な道路空間整備による交通事故の抑制、公共交通基盤整備による公共交通の活性化を目指す

地区人口の変化率	-0.3% (H20)	→	-0.3% (H26)
地区内での交通事故発生率	47.7% (H20)	→	47.7% (H26)
路線バス生地線の年間乗車数	41,848 人/年 (H20)	→	45,000/年 (H26)

事業内容

- 基幹事業 (2,182.0 百万円) → 道路 (W=4~16m L=4,130m)、道路消雪施設、総合公園駐車場整備、耐震性防火貯水槽 (1 槽)、防災倉庫 (117 m²)、ポケットパーク (2 箇所)、地域交流広場整備、カラーレ駐車場整備、駐輪場グレードアップ、駅トイレ (1 箇所)、地域交流施設整備、土地区画整理事業 (31.3ha)
- 提案事業 (248.0 百万円) → 背戸川環境整備 (W=4m)、交通安全設備整備、アクアパーク整備、土地区画整理事業 (市単独分)、地域交流施設整備、三日市幼稚園解体、事業活用調査、公共交通再生・活性化支援事業、路線バス運行社会実験



完了地区 富山県

地区の現況と課題

本地区は、本市の中心市街地である三日市とともにこれと連続する海沿いの既成市街地である石田や生地等を含む約 1,600ha の地区である。

本地区の一部（三日市及び石田）では、これまで都市再生整備計画（三日市地区）に基づく諸事業を実施してきたが、その成果は一部の地域にとどまるなど、地区の諸課題（①密集市街地における防災上の課題、②歩行者の安全性確保に関する課題、③街の賑わいづくりに関する課題）の全面的な解決には至っていないのが実状である。併せて、三日市と近接する生地や大布施等における歩行者の安全性確保の課題や、地区住民や観光客の足となる路線バスの活性化の課題が顕在化してきた。

本地区内では、NPO法人黒部まちづくり協議会が三日市に拠点を置き、賑わいづくりに向けたワークショップやイベント等の開催を実施するほか、黒部観光ボランティアの会が生地を中心にまち歩き観光案内等の活動を実施している。



▲ 整備後の地域交流広場及び施設



▲ 三日市保育所周辺土地区画整理事業

提案事業の特徴

路線バス運行社会実験

生地と三日市を結ぶ路線バス生地線を中心に、地域住民及び観光客の特性に応じた運行ルート・運賃等の見直しによる試験運行を実施し、地域公共交通の再生・活性化を図った。

アクアパーク整備事業

市民の憩いの場であるアクアパーク（下水処理水を活用した親水空間）において、下水道汚泥から発生するメタンガスを熱源とする足湯施設の設置により、市民の環境意識の向上とともに県内外の来訪者に対するPRを図った。

交通安全設備整備事業

中心市街地や既成市街地等における交差点等の交通安全上の危険箇所へのカーブミラー等の設置により、安全な道路空間の形成を図った。



▲ 路線バス運行社会実験

計画策定プロセス

NPO法人黒部まちづくり協議会（三日市ワークショップ）

NPO法人黒部まちづくり協議会が7つのワークショップを構成し、市民一人ひとりから始めるまちづくり活動を展開している。中でも、地区内を活動の基盤とする「三日市ワークショップ」では、イベントの定期的開催（やってみっか市）や、地域の活性化を見据えた都市整備のあり方や活用方策の検討等を実施している。

黒部観光ボランティアの会

黒部観光ボランティアの会では、生地まち歩き事業（ボランティアガイド）を主体に、観光地化への地域課題の整理、昼食メニューの開発研究、特産品開発研究等に取り組んでいる。



▲ NPO法人黒部まちづくり協議会「やってみっか市」の様子



▲ 黒部観光ボランティアの会「生地まち歩き観光ボランティアガイド」の様子